

# 第1回ジュニア・サミット庁内プロジェクト会議 事項書

平成27年11月25日(水) 10時30分から  
桑名市役所本庁舎 3階2階会議室

## － 会 議 次 第 －

- 1 市長訓示
  
- 2 事項
  - (1) ジュニア・サミットとは
  - (2) プロジェクトチームの概要と役割
  - (3) ジュニア・サミット推進委員とは
  - (4) (仮称) 市民会議について
  
- 3 部会討議
  - ① 各種団体の洗い出し
    - ・ 報告期限：12月1日(火) 午前中
  - ② 取り組み事項及び経費概算のまとめ
    - ・ 報告期限：12月15日(火) 午前中

2016年4月22日～

ジュニア・サミットが桑名にやってきます！！

### ジュニア・サミットって何？

世界8カ国の首脳が集まり、様々な国際問題を討議するG8サミット。G8サミットで議論される政治や経済の問題は世界中の子どもたちにも大きな影響を与えます。そこで2005年からG8で取り上げられる国際問題を子どもたちの視点で話し合う「Junior 8(ジュニア・エイト)サミット」がスタート。世界を代表する首脳陣に対し、子どもたち自身が貧困や教育などの子どもに関わる問題を解決するための提言を行ってきました。

### 誰が参加するの？

ユニセフが主催するコンテストを通じて選ばれたG8各国と開発途上国の若者の代表が参加します。

### 何をするの？

その年のG8で取り上げられる議題、さらにこれまでのG8の議論をふまえて決定されたテーマについて話し合い、意見をまとめ、J8宣言(2007年までは共同声明)を作成します。この宣言文は、G8サミット会期中に全世界に向けて発表されます。

みんなで  
桑名市を  
もいあげよう♪

今日11月25日は

ジュニア・サミット開催の149日前です！



(役割分担イメージ) ※今後、外務省・桑名市と調整要

	担当部署	役割	主な業務
外務省	人物交流室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総括</li> <li>・全体企画・実施・運営</li> <li>・参加各国との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の企画・実施・運営</li> <li>・開催日程、規模等詳細決定</li> <li>・業務発注</li> <li>・参加各国への依頼、参加者招へい</li> </ul>
開催県・三重県	伊勢志摩サミット三重県民会議	県民会議事務局 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の開催支援</li> <li>・開催県としての企画・提案・実施</li> <li>・国及び開催市との調整</li> <li>・県内関係者との調整、とりまとめ、意思決定</li> <li>・北勢地域との調整</li> <li>・経費負担</li> <li>・おもてなし、広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が行う企画・実施・運営のサポート</li> <li>・歓迎行事、体験・交流等の企画を盛り込んだ提案書の提出及び実現</li> <li>・国及び開催市との調整</li> <li>・訪問地自治体や県内高校生との調整</li> <li>・北勢地域内市町との事業の調整</li> <li>・提案部分についての経費負担</li> <li>・おもてなし(花)(農業高校等と連携)</li> <li>・広報等(ポスター、のぼり、HP等)</li> </ul>
		桑名市 (市民会議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・桑名市事業の企画・提案・実施</li> <li>・経費負担</li> <li>・おもてなし、広報</li> <li>・北勢地域内市町との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桑名市事業としての歓迎・交流行事の企画提案・実施</li> <li>・会場関係、桑名市事業の経費負担</li> <li>・おもてなし(花や清掃)</li> <li>・広報等(ポスター、のぼり、HP等)</li> <li>・北勢地域としての取組の検討、実施</li> </ul>

ジュニア・サミット庁内組織表(案)

	《課題、検討事項》	《関係団体》	《関係所管》	部会長
おもてなし部会	街をきれいに ・庁内及び公共施設等を活用したPR ・公共交通を活用したPR ・花いっぱい運動等 ・おもてなし、接客UP ・街路樹の剪定	鉄道各社 NPO 自治会、ボランティア	公共施設マネジメント課 都市整備課 環境政策課 市民協働課 土木課	◎
交流部会	市民の交流、接点の機会 ・中高生の交流 ・J7の国の理解を深める(食/地理)	石取保存会、千羽鶴を広める会、歴史案内人等 小中学校	教育総務課 文化課 指導課 学校教育課	◎
発信部会	このチャンスで桑名の情報発信 ・海外のプレス対応とPR(インバウンド) ・国内のプレス対応とPR ・民間と連携したPR	海外報道と国内窓口	ブランド推進課	◎
危機管理部会	・会場の警備 ・消防 ・傷病者の医療、救護 ・ライフラインの確保	警察等 消防等 病院等	防災・危機管理課 消防本部総務課	◎
協賛部会	開催支援			
寄附 企業の部 個人の部	・予算支援 企業の寄付対応対応 個人ふるさと納税対応		財政課	◎
協賛・ボランティア	・民間企業コラボ 商品化、協賛、ノベルティ対応	県民会議協賛企業等	商工観光課	
運営部会	・市民会議の運営 ・会場の運営 ・市民会議予算の会計処理	ナガシマRと連携 会長決めと予算内諾	人事課 総務課	◎
支援部会	・全体調整 ・広域連携		政策経営課	◎

平成 27 年 11 月 20 日

部・次・課長 各位

桑名市長

(仮称) ジュニア・サミット桑名市民会議及び  
庁内プロジェクトチームの立ち上げについて (通知)

ジュニア・サミット市民会議を 12 月中旬に立ち上げ予定である。

市民会議は、桑名市民を始め団体や企業及び行政関係者で組織し、ジュニア・サミットを後方支援するとともに、サミット関係者を「おもてなし」し、この機会に桑名市の良さや魅力を知ってもらえるよう PR する。以て桑名市の認知度の向上と今後の国際交流と海外誘客の促進を目指すものである。

ついては、ジュニア・サミット桑名市民会議の運営支援を行うため、市役所内にプロジェクトチームを立ち上げるので、関係各位のご協力をお願いする。

現段階では、下記のプロジェクトチームの部会に記載のある部署の課長に参加頂きたい。今後、状況に応じてプロジェクトチームを拡充する予定である。

《プロジェクトチームの役割 (案) 》

所管課長級の職員をチームメンバーとし、事業内容に応じた部会を編成する。

状況に応じて部会の下に、所管課の主任以上でジュニア・サミット推進員を 1 名置くことができるものとする。

- ① 市民会議の部会での取り組むべき事項を洗い出す。
- ② 部会の実働部隊の団体や活動手法を提案し、その内容を纏める。
- ③ 活動に係る経費を把握する。
- ④ 取り組み内容、実施の工程表を作成する。(※1)
- ⑤ 市民会議の事務局に参画し、所管課との連絡調整を行う。

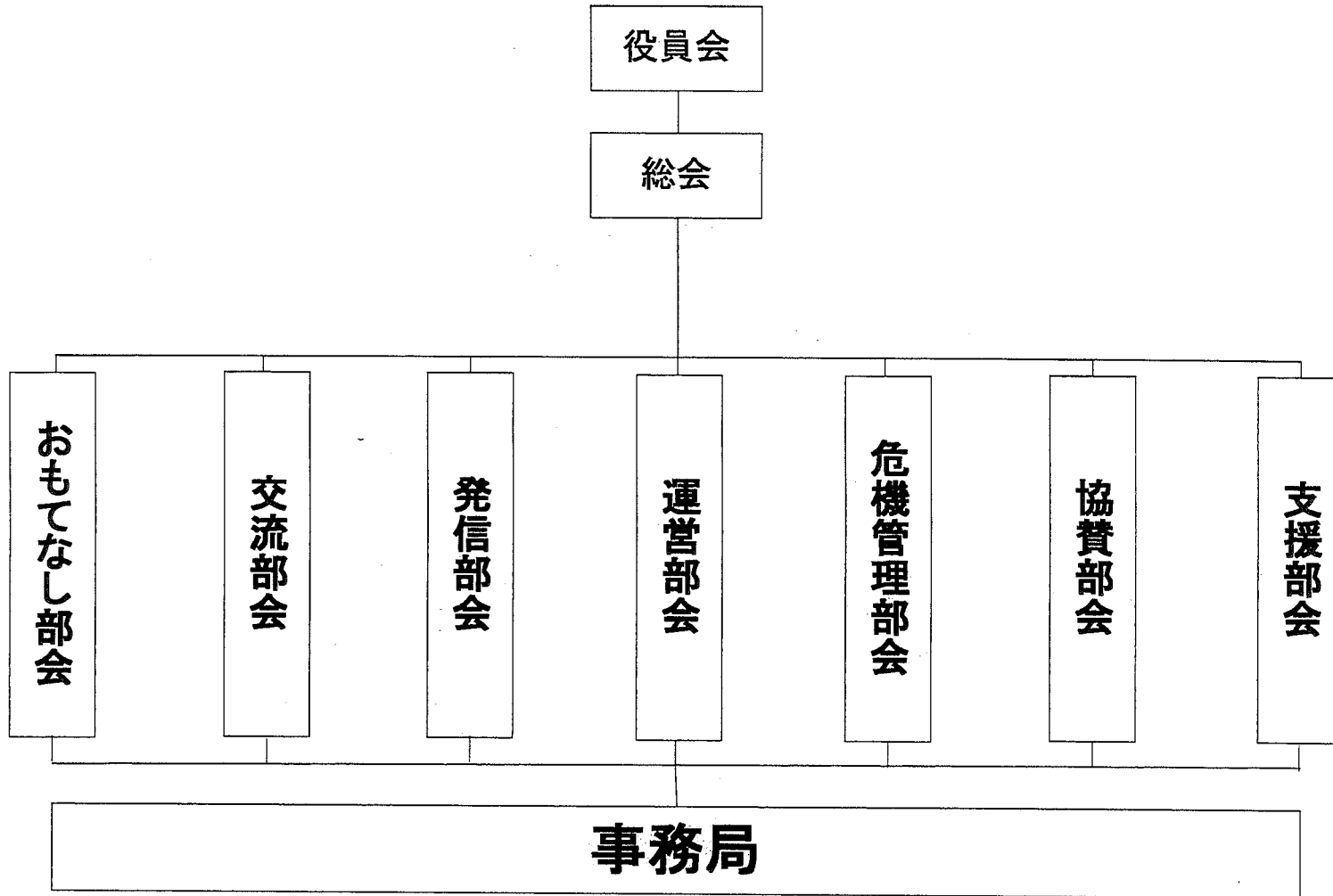
《市民会議立上げ後の役割 (案) 》

- ⑥ 市民会議の該当部会の事務局を担当する。(各課 1 名)
- ⑦ 部長は民間団体の代表に就任を依頼する。
- ⑧ 部会を民間主導 (WS 形式等) で運営し、内容、手法、工程を纏める。  
(状況に応じて事務局が作成した内容工程 (※1) の提案も行う。)
- ⑨ 部会予算を立てる。
- ⑩ 部会で決めた内容、工程の進捗管理を行う。

《プロジェクトチームの部会 (案) 》

- ・おもてなし部会：土木課、環境政策課、市民協働課、都市整備課、  
公共施設マネジメント課
- ・交流部会：教育総務課、文化課、指導課、学校教育課
- ・発信部会：ブランド推進課、
- ・危機管理部会：防災・危機管理課、消防本部
- ・協賛部会：財政課、商工観光課
- ・支援部会：政策経営課
- ・運営部会：人事課、総務課

# 市民会議組織図（案）



# 第1回ジュニア・サミット市内プロジェクト会議 席次表

<黒板>

消防本部 都市整備 教育部長 市長 市長公室長 総務部長 経済環境 市民安全  
次長 部長 部長 部長 部長 部長 部長

政策経営課長

総務課長

人事課長

財政課長

商工観光課  
主幹

消防本部  
救急課長

防災・危機管理  
課長

ブランド推進  
課長

学校教育課長

ジュニアサミット  
推進課長

公共施設  
マネジメント課長

都市整備課長

環境政策課長

市民協働課長

土木課長

教育総務課長

文化課長

指導課長

事務局

報道関係者

傍聴席(机あり)

傍聴席(イスのみ)

平成 27 年 11 月 25 日

ジュニアサミットプロジェクトチーム第 1 回会議 市長挨拶

ジュニアサミットプロジェクトチーム立ち上げにあたり訓示を申し上げる。

本日は、ジュニアサミットを成功させるため、市役所にプロジェクトチームが立ち上がったことは、実に頼もしく、喜ばしいことである。

日本でサミットが開催されるのは、7～8 年に一度であるが、この三重県で開催されることは、初めてで、この後も私たちが生きている間には、まずないであろうと思われる。

さらに、ジュニアサミットは、サミット開催時に必ず開催されるとは限らないものであり、そうした中でこの桑名での開催が決定されたことは千載一遇のチャンスであると捉えなければならない。

この限りある一生に一度のチャンスを桑名でどう活かすかは我々に掛かっているととっても過言ではない。

日本を代表する開催地、桑名として、何ができるか、是非皆さんに考えてもらいたい。

そして、次の段階では市民の皆さんを巻き込んで、市全体でどう盛り上げ、市民の皆さんに達成感を感じてもらい、意義あるものにしていくか、市民会議の中で検討をお願いしたい。

最大の視点は、来て頂いた各国の中高生、また随行の方、メディアの方にどう桑名の良さを伝え、理解して頂くかであり、桑名のおもてなしの真価が問われるところである。

桑名市は地方創生のまち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも、インバウンドは、政策の柱である。これを契機に国内に加え、海外での認知度の向上と誘客の促進、そして外貨獲得に向けた取り組みを進めたいと考えている。

是非、皆さんの組織力、アイデア力で、このジュニアサミットをやって良かった、来て良かった、桑名で良かったと言って頂けるようオール桑名での取り組みをお願いして、訓示とする。

頑張って成功させましょう。